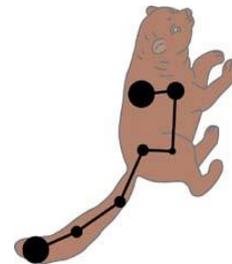


ポラリス通信



第54号 令和6年11月26日

萱田南小学校 5年生 ミシンでソーイングを終えて

11月26日(火)萱田南小学校では、1学期と同様に5年生の家庭科学習を行いました。萱田ポラリスの皆様と一緒にミシンやアイロンの扱い方を学習しました。たくさんの御協力をいただき、子どもたちは技能を高めることができ、充実した学習にすることができました。



【子どもたちの主な感想】

- ポラリスさんのおかげで返し縫いの場所やコツがわかって、エプロンづくりが進みました。
- 近くにいてくださったおかげで、いつもより速くエプロンを作ることができました。
- ポラリスの方々が丁寧に教えてくださってとても分かりやすかったです。
- 教えてもらいながら、何度も練習することができて、下糸のすくい方をマスターできた。



【ボランティアのみなさんの感想】

- 子どもたちにコツを1回教えると、すぐに理解しており感心した。
- 一人で進められる子どもは、自分のペースで進めることができ、終わった後もクラスメイトの手伝いが出ており、微笑ましかった。
- グループの中にリーダー役がいて、上手にサポートしている姿が頼もしかった。
- 落ち着いた子が多く、椅子を勧めてくれる等、いろいろな気遣いをしてくれて嬉しかった。
- 子どもたちと学習する時間を十分に楽しむことができた。

【最後に、学年の先生方からのコメントなど】

- 何度かミシンの学習をしてきているが、まだ自分たちではミシンをセットできない子が多く、普段の授業では、担任一人で各班を順番に回っているのが非常に効率が悪くて困っていました。今回7名のポラリスの先生方が来てくださり、各班でご指導いただけたことにより、子どもたちはミシンの使い方が上達し、この授業だけでなく、その後の授業の進むスピードが上がってとても助かりました。
- 使い始めたばかりのミシンに戸惑いを感じている児童も多かったのですが、丁寧かつ、わかりやすく教えていただき、苦手意識が薄れた児童もいたようでした。ご支援ありがとうございました。